



看護 とちぎ



福寿草

CONTENTS

- 2 会長新年あいさつ
- 3 理事あいさつ「新年の抱負」
- 4 2024(令和6)年度 理事会の動き
- 5 令和6年度栃木県四師会協議会 開催
- 6・7 令和6年度 地区支部活動報告
- 8 「第24回栃木看護学会学術集会」実施報告
- 9 認定看護管理者教育委員会活動報告
令和6年度訪問看護教育研修を振り返って
新人看護職員応援研修委員会活動報告
- 10 実習指導者講習会委員会活動報告
看護大会準備委員会活動報告
医療安全対策推進委員会 セーフティシェアリング
- 11 認定看護師等派遣事業報告
- 12 研修受講者の感想
- 13 訪問看護ステーション事業活動報告
- 14・15 ナースセンター通信
- 16 お知らせ
わたしのペット自慢
入会のご案内
編集後記

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 栃木県看護協会



ホームページ

公式SNSはこちら



公益社団法人 栃木県看護協会



会員数 12,302人 (R6.11.30現在)

新年あいさつ



公益社団法人栃木県看護協会

会長 朝野 春美

新年明けましておめでとうございます。

栃木県看護協会の会員の皆さまには、日頃より看護協会活動にご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年、元日の能登半島地震に始まり、線状降水帯での集中豪雨による水害、日向灘の地震とその直後に初めて発表された南海トラフ大規模地震臨時情報等、どこの地域に起こってもおかしくない自然災害、それに備えることを余儀なくされた年となりました。そのような中で、いつ発生するかわからない健康危機に対して、平時からの備えの重要性を改めて痛感しています。

感染症法上5類に移行したとはいえ、新型コロナウイルス感染症は未だ収束したとは言えない状況が続き、加えて、インフルエンザ、マイコプラズマ感染症、さまざまな感染症が流行する中、看護職として地域での役割を果たしていただいている皆さまへ深く感謝申し上げます。

さて、我が国の少子超高齢化が猛スピードで進む中、日本看護協会では2025年問題への対応として「看護の将来ビジョン」を2015年に公表し、「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実践活動を行ってまいりました。次なる2040年問題に対応するために、新たな「看護の将来ビジョン」を策定中であり、6月には公表されます。ますます変容する社会や医療福祉現場の状況を踏まえて、看護が進むべき方向性、そのために何をすべきかを明確にし、人々の地域での療養生活を支える最も身近な存在としての役割をより一層発揮していきましょう。

ところで、2024年は栃木県保健医療計画（8期計画）が策定され、新たな計画に基づく取組のスタートの年となりました。今回の計画では、看護職員の数値目標として、特定行為研修修了看護師の就業者数が設定されています。2022年に171人だった修了者の就業者数を、2029年までに442人まで増やす計画です。専門性の高い看護職の育成と活動の推進については、栃木県看護協会がかねてより県に要望していましたが、令和6年度から県の委託事業として「特定行為研修修了者及び認定看護師等活動推進事業」を開始しました。特定行為研修修了者に限らず、認定看護師・専門看護師の資格取得者数も栃木県の現状としてはなかなか急激に増えるという状況ではないのが現状です。特に特定行為研修修了看護師は施設や地域等様々な場所で活動する目的のために創設されましたが、訪問看護ステーションや施設での数が足踏み状態です。昨年の診療報酬等のトリプル改定でも専門性の高い看護職の必要性がうたわれており、ジェネラリストの育成と共に専門性の高い看護職の育成が急がれています。

これからますます超高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域で一人一人がその人らしく生活できるように、県民の皆さまの身近に存在する看護職として看護の力を発揮して、県民の方々の健康で幸せな生活を支える役割をともに果たしていきましょう。

結びに、この1年が皆さまにとって素晴らしい1年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

どうか、本年もよろしく願いいたします。



理事あいさつ

「新年の抱負」

副会長 **山口 久美子**

きのとみ

柔軟性と直感を大切にす乙巳の年、年齢も考慮し自分のペースを保ちながら着実に前進したいと思います。

副会長 **福原 円**

どんな状況においても、落ち着いて構え、本質を見失わないよう「泰然自若」でありたいと思います。

常任理事 **渡邊 芳江**

今年の干支「巳」に相応しいように目標に向かって努力を惜みせず、最後まで粘り強くやり遂げたいと思っています。

助産師職能理事 **田中 純**

柔軟な姿勢で物事を捉え、一つ一つを積み重ね、母と子にとって安定した年になるように努めます。

理事 **勅使河原 由江**

あけましておめでとうございます。ウォーキングと大好きな神社巡りで心身のバランスを保ち、笑顔で歩を進めます。

理事 **三橋 明美**

乙巳は柔軟に発展していく年です。しなやかに変化しながら進んでいきます。

理事 **酒巻 佐和子**

心機一転 プラチナナースも素敵ですが、錆びないよう磨き続けて渋く光るシルバーを目指します。

理事 **小林 阿由美**

新しいことに挑戦できる知力、気力、健康に留意し、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」良い年にします。

理事 **青木 千江美**

巳年の今年は、今後も長〜いお付き合いのご縁を結び、皆様に頼りにされる活動と成長を目指します。

理事 **岡崎 京子**

本年は、巳年です。「慎重」かつ「着実」に、いきいきと働き続けられる環境を目指し、頑張ります。

監事 **藤井 貴美子**

干支のごとく、社会の変化に適應できる柔軟な思考と行動がとれるよう精進したいと思います。



専務理事 **五月女 祐子**

DXの必要性が高まる中、アナログ人間としては、少しずつ自身のデジタル化を図れるよう、チャレンジしていきたい。

保健師職能理事 **富田 倫子**

県内保健師の皆様と共に、予防を進化させる1年にしたいと思います！

看護師職能理事 **乾 寛美**

巳年の脱皮のごとく「復活」「再生」の年。看護職が生き生きと働き続けられる様に役割を遂行して参ります。

理事 **福田 裕美子**

巳年の如く、知恵を持ち、新しいチャンスを巧みに捉えることができる柔軟で、力強い活動を目指していきます。

理事 **井上 文子**

巳年は「復活・再生」の象徴の年です。何事にも前向きに、新たな事に挑戦したいと思います。

理事 **向田 千津**

行政の動きに注視し、災害時に活躍できるナース育成に努めます。皆さんの元気のために頑張りたいです。

理事 **井上 和子**

今年は巳年、力を蓄えていたものが芽を出す「起点」「実を結ぶ」年です。実のある活動となるよう精進します。

理事 **平山 磯子**

巳年は、努力を重ね物事を安定させていくという意味合いをもつ年だとか。地道な努力を心がけます。

理事 **黒古 敬子**

今年は巳年。鋭い洞察力で自分の道を切り開き、新しい挑戦や変化に対応していきたいと思っています。

監事 **佐々木 隆**

大きな一歩ではなく、小さな一歩を大切に、継続して挑戦そして成長し続ける一年にします。



2024(令和6)年度 理事会の動き

専務理事 五月女 祐子

第1回理事会 令和6年5月27日(月)

I 協議事項

なし

II 報告事項

- 1 令和5年度定例監査報告について
 - 2 日本看護協会理事会報告
 - 3 特定行為研修修了者及び認定看護師等活動推進事業の実施について
 - 4 令和6年度補正予算について
 - 5 会員数の報告
- その他
なし

第2回理事会 令和6年6月22日(土)

I 協議事項

- 1 役員の選定(案)について
- 2 副会長の順序について
- 3 理事の業務分掌(案)について
- 4 委員会の委員(案)について
- 5 役員報酬(案)について

II 報告事項

委員会及び地区支部報告
その他

- (1) 当協会 規則集の配布について 新理事・新監事
- (2) 公益法人の各機関の役割と責任〈携帯版〉の配布について 新理事・新監事

第3回理事会 令和6年9月2日(月)

I 協議事項

- 1 2025(令和7)年度事業執行方針について
 - (1) 重点政策・重点事業 について
 - (2) 事業計画・予算要求について
- 2 2025(令和7)年度栃木県看護協会通常総会の日程(案)について

II 報告事項

- 1 令和7年度看護政策に関する要望書の提出について
 - 2 令和6年度補正予算について
 - 3 令和6年度事業報告(令和6年4月～令和6年6月)について
 - (1) 公益目的事業
 - (2) その他の事業
 - (3) 第1四半期会計報告
 - 4 日本看護協会理事会報告
 - 5 委員会及び地区支部報告
- その他
なし

第4回理事会 令和6年12月2日(月)

I 協議事項

- 1 第39回栃木県看護大会・第35回「看護の日」記念行事の開催について(案)
- 2 特定資産(積立資産)の取り崩しについて(案)

II 報告事項

- 1 令和6年度事業報告(令和6年4月～令和6年9月)について
 - (1) 公益目的事業
 - (2) その他の事業
 - (3) 第2四半期会計報告
 - 2 日本看護協会理事会報告
 - 3 委員会及び地区支部報告
 - 4 2024年度 地区別法人会員会報告
 - 5 新たな研修管理システムの導入及び研修受講料等の見直しについて
- その他
なし

令和6年度栃木県四師会協議会 開催

当協会からは、「新たな仕組みによる災害支援ナースの派遣体制について」を報告

令和6年度栃木県四師会協議会（県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会）については、栃木県看護協会が当番団体として、令和6年12月17日（火）午後6時から宇都宮東武ホテルグランデにおいて、総勢46名が参加して開催されました。

今年度は、県医師会の竹村常任理事が「薬不足と急速なジェネリック化による医療への影響について」、県歯科医師会の森常任理事が「栃木県歯科医師会におけるIT化推進の取り組みについて」、県薬剤師会の鹿村副会長が「歯薬連携を起点にした多職種連携について」をテーマとして発表しました。

当協会からは、五月女専務理事が、「新たな仕組みによる災害支援ナースの派遣体制について」をテーマに、まず、当協会におけるこれまでの活動実績や旧制度における課題を説明し、今回の法令等の改正により、派遣対象、養成・登録、派遣形態・経費等が明確となった制度の変更点及び今後の活動における課題について発表を行いました。

会議終了時間をオーバーして意見交換を行いました。その後開催された懇談会においても引き続き熱心な意見交換や情報交換が行われ、大いに盛り上がりました。

なお、各団体の会長からは、他県にはない四師会の結束が強調され、今後も協力・連携しながら各種事業に取り組んでいくことを確認しました。



協議会で座長を務める朝野会長



医師会 竹村常任理事



歯科医師会 森常任理事



薬剤師会 鹿村副会長



看護協会 五月女専務理事



懇談会であいさつする朝野会長

（報告：事務局長 吉澤 敏弘）

令和6年度 地区支部活動報告

宇都宮地区支部活動報告

地域に寄り添う保健活動とネットワークづくり

宇都宮地区支部長 小林 阿由美



宇都宮地区支部活動は、会員数 3,083 名の地域です。令和 6 年度の活動は、8 月に第 1 回看護管理者会議を開催し、「タスクシフトの推進に向けた各施設の取り組み」をテーマに 3 名のシンポジストから「特定行為研修修了看護師の活動について」、「看護補助手手の教育・タスクシフト」、「薬剤師によるタスクシフトの取り組み」を発表していただきました。各施設の大変貴重なお話を聞いて、活発な意見交換が行われ



れました。9 月は、宇都宮保健センターとの共同開催の健康づくり講座を開催しました。「名医に聞く！健康と幸せを目指すミドル・シニアライフ」をテーマに、国際医療福祉大学病院内科学教授一石英一郎氏による講演会を開催しました。10 月は、済生会宇都宮病院との共同開催で宇都宮直下型地震を想定した大規模災害訓練見学、トリアージ方法や E M I S 入力体験をしていただきました。11 月には、せん妄・認知症看護研修を開催し、ユマニチュードを用いた対応やコミュニケーションについて学び、日ごろの実践を振り返る良い学びになりました。今後も、会員の皆様にとって、有意義な研修を開催していきますので、ぜひご参加下さい。

まちの保健室活動は、奇数月の第 3 土曜日に F K D 宇都宮店で実施しています。看護師、助産師、保健師と共に、栄養士さんや看護学生さんも加わり、年齢を問わずに住民の健康相談教育に応じています。

県西地区支部活動報告

地域住民の生き方支援を考えた活動をめざして

県西地区支部長 井上 和子



令和 5 年度栃木県の人口報告によると、県西地区支部の 65 歳以上人口割合は 37.3%、14 歳以下の人口割合は 10%であり、県内でも高齢化率の高い地域である。

また、高齢者のみの世帯が多く、多くの方が住み慣れた地域で今までと同じ生活を望んでいる。これら住民の思いを受け止めつつ、地域に根差した看護展開をどのように考えていったらよいか、職種間の壁をなくす、地域住民の声に寄り添う活動を検討した令和 6 年であった。



高齢者の嚥下機能の維持と口腔ケアに関する知識を高め、最期まで自分の口から栄養を摂れる予防を意識したケア実践について専門医の講義から、実践に活かせる知識と技術を学ぶことができた。

また、これまでの 3 年間のコロナウイルス対応で疲れた心身を癒し、健康な心で看護を続けられるために、医師であり僧侶でもある講師の語りを聞きながら、心を緩ませる時間の共有の場を持つことができた。

さらには、1 月 1 日に発生した能登半島地震への災害支援ナースの活動報告会が開催でき、災害支援時の対応の準備の大切さ、災害支援ナースを派遣する際の施設や地区支部における支援の在り方を考える機会となった。

次年度も、地域住民の生き方支援に役立つ活動が続けられるよう地区支部役員と共に、検討を重ねていきたい。

県東地区支部活動報告

地域の看護と介護をつなぐ

県東地区支部長 三橋 明美



県東地区支部は、17 施設・個人会員を含め会員数 538 名の地域です。当地域は高齢化率が高く、医療・介護・福祉人材が県内でも少ない地域です。2025 年を目の前に更なる医療・介護の連携が重要となります。令和 6 年度は医療機関だけでなく高齢者施設や在宅でのケアの充実を図るため研修会を開催しました。



7 月に感染管理、9 月にスキンケアの研修会、在宅医療地域連携構築事業は、6 月に成年後見人制度について、12 月に退院支援についての事例検討会を開催しました。事例検討会は継続的に開催しており、顔の見える多職種連携が更に深まることを期待します。また、今年度もハラメント対応研修会を開催しました。施設や訪問看護の現場で起きる事例を踏まえ講演していただきました。多くの地域の関係者の方に参加していただき、今後の対応に役立てていただければと思います。

まちの保健室事業は、より多くの住民の方が参加できるように、今年度は真岡市大産業祭で開催しました。天候にも恵まれ、150 名の多くの方に参加いただきました。血圧測定や健康相談など地域の方々の健康づくりに寄与するとともに栃木県看護協会を知っていただく機会になったと思います。今後も地域の医療・介護の連携を図るため、活動して行きます。

栃木地区支部活動報告

心の健康づくりを目指して

栃木地区支部長 福田 裕美子



栃木地区支部は、23 施設・個人会員 109 名を含め会員数 1,806 名の構成になっています。令和 6 年度は、コロナを経て疲弊し、人との関係づくりが脆弱になった医療者の心の健康回復を目指すことをテーマに、7 月に笑いヨガ、9 月に看護師資格を持つ外部講師によるホスピタリティ溢れる接遇研修会、11 月では医療人が学ぶアンガーマネジメントを開催いたしました。厳しい医療現場の状況から、多くの参加者が集うことは困難でしたが、いずれの研修も参加された方が「楽しかった」「よかった」と声を揃えてくださったことから、研修の成果を実感することができました。

また、恒例の「まちの保健室」では、リピーターで来場される方が増えてきています。隔月開催となっておりますが、着実に地域に根差した活動になりつつあるといえます。

今年度の各研修が好評であったこともあり、次年度に引き継いで開催する予定です。

会員・非会員を問わず、支部内の交流を深められる活動を続けていくとともに、地域に貢献できる活動を推進していきたいと思っております。



小山地区支部活動報告

地区支部会員の皆様と地域の健康を考える活動を

小山地区支部長 青木千江美



小山地区支部は 33 施設会員と個人会員合わせて 2,545 名で構成されています。令和 6 年度の看護協会小山地区支部主催研修では「大人の発達障害と共に歩む看護」のテーマで田中亜希子臨床心理士を講師に招きました。大人の発達障害について講義をしていただき、その後他施設の看護職でグループワークを行いました。自施設の困った症例を基に 4 つのサイクル（観察・内面・ニーズ・戦略）を使い、相手と自分の視点から感情を想像し膨らませ、今できることを考えていきました。グループワークを通し、同じ悩みを抱えている人がいるのだなと思えました。普段は、もしかして発達障害なのかもしれないなと思っても、相手や自分の感情にじっくり向き合う機会がなかったため、対応について考える良いきっかけになりました。まちの保健室は、9 月に国際ティビシィ小山看護専門学校で、10 月は小山健康フェスティバルでそれぞれ開催することができました。初のヘルス機器（認知症セルフチェッカー等）導入も好評でした。今後も会員の皆様のご協力のもと、信頼される地区支部活動に取り組んでいきたいと思っております。

思いました。普段は、もしかして発達障害なのかもしれないなと思っても、相手や自分の感情にじっくり向き合う機会がなかったため、対応について考える良いきっかけになりました。まちの保健室は、9 月に国際ティビシィ小山看護専門学校で、10 月は小山健康フェスティバルでそれぞれ開催することができました。初のヘルス機器（認知症セルフチェッカー等）導入も好評でした。今後も会員の皆様のご協力のもと、信頼される地区支部活動に取り組んでいきたいと思っております。



県北地区支部活動報告

令和 6 年度の県北地区の活動報告

県北地区支部長 井上 文子



県北地区支部は、大田原地区・矢板地区・南那須地区の 3 地区を合わせた広範囲な地区支部で、会員 2,167 名で構成されています。今年度の活動は、まちの保健室 2ヶ所と研修会を 2 回行いました。まちの保健室では、高校の文化祭への参加 1 校と、大田原市の産業文化祭へ出展しました。両開催共に 100 名以上の相談があり、関心の高さを感じました。しかし、血圧や体脂肪測定などは、家庭でも気軽に測定できるようになってきていることから、次年度は血管年齢測定など家庭ではできない測定の追加等を検討したいと考えています。県北健康福祉センターとの共催研修では、医療者側と介護者側のそれぞれの立場での入退院支援の現状と課題について報告を受けました。また、「入退院支援の手順書」の活用について説明後、グループワークを行いました。参加者は 66 名で、4 年ぶりの集合研修で活発な意見交換ができました。そして、顔の見える関係づくりが改めて重要であると感じ、有意義な研修となりました。地区支部主催研修では、超高齢化社会となり、心不全患者が増加している中、急性期と慢性期の心不全患者の看護のポイントについての研修を予定しています。今後も地域の皆様に貢献できるよう邁進してまいりますので、ご協力をお願いします。

県北地区支部は、大田原地区・矢板地区・南那須地区の 3 地区を合わせた広範囲な地区支部で、会員 2,167 名で構成されています。今年度の活動は、まちの保健室 2ヶ所と研修会を 2 回行いました。まちの保健室では、高校の文化祭への参加 1 校と、大田原市の産業文化祭へ出展しました。両開催共に 100 名以上の相談があり、関心の高さを感じました。しかし、血圧や体脂肪測定などは、家庭でも気軽に測定できるようになってきていることから、次年度は血管年齢測定など家庭ではできない測定の追加等を検討したいと考えています。県北健康福祉センターとの共催研修では、医療者側と介護者側のそれぞれの立場での入退院支援の現状と課題について報告を受けました。また、「入退院支援の手順書」の活用について説明後、グループワークを行いました。参加者は 66 名で、4 年ぶりの集合研修で活発な意見交換ができました。そして、顔の見える関係づくりが改めて重要であると感じ、有意義な研修となりました。地区支部主催研修では、超高齢化社会となり、心不全患者が増加している中、急性期と慢性期の心不全患者の看護のポイントについての研修を予定しています。今後も地域の皆様に貢献できるよう邁進してまいりますので、ご協力をお願いします。

安足地区支部活動報告

地域で支えあうことの大切さについて考える

安足地区支部長 勅使河原 由江



安足地区支部は個人会員を含め 1,164 名で構成されています。今年度は研修計画として、4 つのテーマをあげました。内容は「認知症患者との実際の関わり方・接し方」、「高齢者がいつまでも口から食べることができるように」、「在宅移行に向けた退院支援の実践」、「医療的ケア児への関わりと連携について」ということで全て予定通り開催することができました。看護職だけではなく地域の人々を支える多職種の方々にもたくさん参加していただき、それぞれの役割を意識し多くの学びを得ることができたと好評でした。



また、まちの保健室活動は足利市で開催された「花火大会前夜祭」に参加し、お子様たちに将来の職業として看護職を選んでいただけるよう、ユニフォームの試着や聴診器で心音の聴取をするなど、看護師の仕事に魅力を感じていただけるような活動を行いました。今年度初めて足利市老人福祉センター幸楽荘の感謝祭に参加させていただき、骨密度測定や血圧測定や摂食嚥下障害看護認定看護師による嚥下体操などを行いました。

佐野市健康まつりでは、昨年と同様、血管年齢測定を行い、多くの方に実施することができました。それぞれ、ご自身の健康に関心をもっていただく取り組みができたのではないかと思います。これからも地域の皆様が、生き生きと健康で明るい生活を送っていただけるように活動していきたいと思っております。





「第24回栃木看護学会学術集会」実施報告

栃木看護学会事務局

第24回栃木看護学会学術集会は、今年度から宇都宮市文化会館での集会開催となり400名を超える参加者があり、盛況のうちに会を終了することができました。

基調講演、特別講演を始め、シンポジウム、一般演題、ポスター演題に加え、交流集会、ランチョンセミナー、企業展示なども行いました。また、プログラムの一部をオンデマンド配信とし、参加登録された方には期間を決めて配信をご覧いただけるようにしました。WEBやハイブリッド開催から今年度は集合開催となり、対面での交流は久しぶりであるためか、活発な意見交換が行われていました。

一般演題では、看護管理や看護実践に関する演題の口述発表17演題に加え、今年は10演題のポスター演題もあり、会場との質疑応答もあり学会ならではの雰囲気を感じることができました。交流集会においては、予定より少人数となった集会でしたが、認知症の看護について認定看護師とも密接に関わる機会となり、「参加者の方々に少人数ながら話し合うことができ良かった」との声をいただきました。

アンケート結果では、特別講演、ミニレクチャー、シンポジウム、一般演題のいずれも「満足」「やや満足」を併せて90%以上であり、「興味ある内容であったため学びが深まった」とのご意見や「事例報告、活動報告など演題の幅を広げてほしい」との要望もありました。これらの結果を次年度の企画に活かしていきたいと思えます。

学会概要

開催日時：2024（令和6）年11月30日（土）9時50分～16時34分

開催場所：集合開催（宇都宮市文化会館）＋オンデマンド配信

メインテーマ：多様性に応える看護を考えるー持続可能な看護の追求ー

基調講演：未来につなぐ看護職の多様な働き方

栃木県看護協会 会長 朝野 春美 氏

特別講演：金谷ホテル150年の歴史から見るサスティナビリティ経営

金谷ホテル株式会社 代表取締役会長兼社長 丸山 真人 氏

シンポジウム：社会の多様性に応える看護職の今ーいきいきと自分らしく働くー

株式会社TKC 産業保健師 田中 牧子 氏

Women's Healthゆずき助産院 代表 助産師 柚木 理恵 氏

児童発達支援センターかすが園 看護師 萩島 壽子 氏

交流集会：認知症の人が安心して暮らすために看護職ができること

認知症看護認定看護師：森あかね、早田美穂、坪山範子、林田るみ子

大島沙也加、菊池弥保

発表演題：口演17題 示説10演題

表彰：研究奨励賞 「インシデント・アクシデントレポートの集計をもとにした夜間の排泄援助ー転倒予防への取り組みとその成果ー」

那須中央病院 原 良美 氏

「口腔アセスメント Oral Health Assessment Tool(OHAT)の活用を試みてー統一したアセスメントと口腔ケア実施に向けた取り組みー」

藤井脳神経外科病院 濱野 江梨那 氏

看護管理実践課題賞 「小児病棟におけるアクシデントの低減

ー多職種協働による異常の早期発見のための体制作りー」

獨協医科大学病院 竹澤 恵美子 氏

ポスター賞 「消化器外科術後患者の胃管による褥瘡発生の予防

ー新たな固定方法の検討ー」

国際医療福祉大学塩谷病院 飯島 千裕 氏

「PICC挿入後ラウンドによる管理方法改善への取り組み

ー特定行為研修修了者と特定認定看護師の協働ー」

上都賀総合病院 三品 雅洋 氏



認定看護管理者教育委員会活動報告

認定看護管理者教育委員長 福田 順子



ファーストレベル研修は、コロナ禍で2020年度から3年間60名に制限していた定員を、2024年度80名に戻すことができ、演習支援者についても各施設のご協力で13名に増員しました。36施設の76名を対象に令和6年9月11日～12月13日の22日間で実施しました。受講生は組織の現状を数値で可視化することや、ディスカッションを通じた思考の言語化、文章記述を通じた論拠を繰り返す中で、課題を客観的にとらえるようになります。

セカンドレベル研修は、15施設の31名を対象に令和6年5月16日～令和6年9月6日で計画発表会までを実施しました。令和7年2月7日の実践経過報告会をもって31日間の全課程修了となります。コロナ禍で代替えとして座学で実施していた「他施設見学実習」を再開することができ、それぞれが訪問看護ステーション、老健、病院で実習し地域連携における自部署の課題について改めて考える貴重な機会となりました。

認定看護管理者教育課程は、看護専門職者として必要な管理に関するより広い視点と高度な知識・技術・態度を修得し、看護を提供する上での様々な問題を客観的に分析する能力を高めることを目指しており、看護管理の質の向上のために重要な研修です。講師の先生方をはじめ演習支援者や事務局、受講生同士など、人と人との関わりの中で、改めて看護実践を見つめなおすことができる機会になっていると感じています。



令和6年度訪問看護教育研修を振り返って

訪問看護教育委員長 小堀 千絵



昨年度に引き続き、訪問看護教育研修の企画運営に携わってきました。「訪問看護師養成講習会」32名、「小児訪問看護研修」17名、「在宅人工呼吸器装着者等療養支援研修」14名「在宅ターミナルケア研修」24名が受講されました。担当者のご協力のもと無事計画に沿った研修が実施できました。

本年度はコロナ流行以前より実施していた臨地実習がすべて再開できました。訪問看護師養成講習会で2日、小児訪問看護研修で1日、在宅人工呼吸器装着者等療養支援研修1日の臨地実習ができました。実習レポートでは、たくさんの気づきや学びの振り返りができ有意義だったとの意見が多数聞かれました。また、まとめのグループワークでは活発な意見交換が行われ、研修生の学びたい思いの強さを実感しました。

研修企画では在宅人工呼吸器装着者等療養支援研修シンポジウムを他の研修生の聴講を募り研修対象者を含め30名以上の参加となりました。

今後も難病患者やターミナル期の療養支援、医療的ケア児への支援のニーズの高まりなども鑑み研修内容の充実のため講師の調整や講義内容の検討など図っていきたいと思います。



新人看護職員応援研修委員会活動報告

新人看護職員応援研修委員長 佐藤 由貴



当委員会は、新人看護職員のリアリティショックの低減や看護実践力向上と、離職防止を目的に、新人看護職員と指導・教育を担当する看護職に対し、研修の企画運営を行っています。

新人他施設合同研修はメンタルヘルス・フィジカルアセスメント・まとめ編をそれぞれ3日程組むことで多くの方が参加できるように企画しました。メンタルヘルス研修ではリフレクションやストレスマネジメントを学び、グループワークを通して様々な考え方に触れることができました。フィジカルアセスメントは分かりやすく、実践に活かせる講義内容でした。

実地指導者研修では、朝野春美協会長より新人看護職員臨床研修体制についてご講義いただきました。また、新人の背景や特徴をより理解できるよう、栃木県立衛生福祉大学の泉谷先生よりご講義をいただくことができました。

研修責任者研修は、新人看護職員等の研修計画や、到達目標、プログラムの策定など研修の企画・運営・実施・評価を行うための必要な知識・技術を習得し充実した研修体制や看護職員が定着しやすい職場環境の整備を図る事を目的に自治医科大学附属病院看護部長の福田順子先生にご講義いただきました。

新人も指導者も、互いに成長しながら、やりがいを持って看護職を継続していけるよう、今後も委員会一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



実習指導者講習会委員会活動報告

実習指導者講習会委員長 豊田 早苗



今年度も、県委託事業として、栃木県看護協会が主体となり実習指導者講習会を開催することができました。のべ30日間180時間に亘る研修で49名が、さらに特定分野においては13名が終了認定を受けています。各講義やグループワーク、成果発表会では「教育とは、指導とは。」を振り返り、各自が具体的な行動指標を明確にできていたのではないかと思います。また、他施設スタッフとの交流では、活発な意見交換が行われ、お互いが刺激を受けスキルアップにつなげていたようです。昨年度より実習指導者講習会を受講したメンバー数名が「プロンプター」として演習支援のサポート役を担います。この取り組みは、指導する側・受ける側双方の継続的な学びとなり現場での看護師育成に繋がっています。また、令和8年度研修よりeラーニング導入を検討しており効果的な育成を目指し準備を進めている段階であることをご報告しておきます。

最後に講習会開催にあたり、ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。



看護大会準備委員会活動報告

看護大会準備委員長 福原 円



令和6年5月10日に開催されました看護大会は、看護業務に永年にわたり貢献された方々を表彰する式典として、この度第38回を迎えました。栃木県庁昭と館正庁の厳かな雰囲気の中で、知事表彰5名、大会長表彰25名、感謝状表彰22名と合計52名の方々の受賞式が執り行われました。また、5月25日には、とちぎ健康の森において「いのちをまもるプロとして」というメインテーマのもと、第34回「看護の日」記念事業「看護フェス2024」を実施しました。当日は、高校生による「ふれあい看護体験」の発表、大学や専門学校による看護学校進路相談会をはじめ「看護体験コーナー」として、妊婦体験や高齢者疑似体験、片麻痺・車いす体験、白衣体験などを行い、看護に関心のある54名の中学生や高校生の参加がありました。また、現役ナースによる「先輩ナースに聞いてみよう！」のコーナーには34名の方が参加され、大変好評をいただきました。今後も看護職への理解と関心を深め、看護人材確保への取組の一環として事業の充実が図れるよう、対象者の拡大や新たな内容の検討も行い、創意工夫を重ねて取り組んでまいります。

<医療安全対策推進委員会 セーフティシェアリング>

令和6年度 医療安全研修実施報告

Vol.19

令和6年9月19日(木)

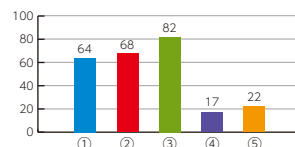
「みんなで取り組む「新5S」活動

(株)安全推進研究所 河野龍太郎先生をお呼びして、「新5S活動のすすめ」の研修を行いました。



研修の内容【複数回答】

- ① わかりやすかった
- ② 実践に生かせる内容でした
- ③ 新たな知識が得られた
- ④ 研修会の進め方がよかった
- ⑤ その他



現場で取り組んでいこう5S活動!!

目指せ!三方よし(患者よし 病院よし 地域よし)

病院の作業環境を改善すると、医療の安全性と医療の作業効率向上し、その結果安全な医療、よい医療、よいサービスにつながります!

お知らせ

来年度の河野龍太郎先生の講義は、ImSAFERを用いた事例分析・対策立案についての研修を行います!講義は2日間を予定しています!

< 受講者の声 : 原文のまま引用 >

- とても聞きやすくおもしろい内容でした。部署で安全係として活動しているので、現場で活かせることが沢山ありました。特にKYTコストダウンについて興味深かったです。
- 講義を受けるのは2回目です。毎回関心を受けて病院で広めたいと思う内容です。看護師の本来の仕事「ケア」に重点を置けるよう科学的P4Sを行っていきたいです。
- 日々仕事をしていて、本日の講義がすごく当てはまり熱く語っていただきスッキリしました。

令和6年度 特定行為研修修了者及び認定看護師等活動推進事業 認定看護師等派遣事業報告（11月現在）

今年度から新たに実施している「認定看護師等派遣事業」。勉強会や実践指導、相談など、施設のニーズや実情に合わせて認定看護師を派遣しています。

県内全域の施設から、15件の申し込みがあり、これまでに認知症看護、皮膚・排泄ケア、感染管理、摂食・嚥下障害看護の認定看護師の皆様にご協力いただきました。

次年度も派遣事業を予定していますので、ぜひご活用ください。

● 依頼施設からの感想

- ・現場にマッチした研修で良い学びになった。
- ・認定看護師の方から実際に話を聞くことができ、悩んでいた課題が解決できた。
- ・対応困難な褥瘡対策に助言をいただき、大変有用だった。

● 認定看護師からの感想

- ・他の医療機関の方と意見交換でき、施設間の交流を深めることができた。



例えば！

こんな時は、認定看護師に相談してみよう

緩和ケア認定看護師

- ◆ がん患者さんの痛みに対するアセスメント方法や治療、ケアについて学びたい！
- ◆ ACP：アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の実際が知りたい！
- ◆ 終末期を迎える患者さんや家族との関わり方に悩んでいます。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

- ◆ 病態生理やアセスメントに必要な知識が知りたい！
- ◆ 後遺症がある患者さんのリハビリテーションについて知りたい！
- ◆ 再発予防のための健康管理指導はどうしたらいいの？



※次年度の実施に向けて、令和7年2月頃に「令和7年度 認定看護師等派遣事業協力施設調査」を予定しています。ご協力をお願いいたします。



研修受講者の感想

クリティカルな状況における患者と家族の意思決定支援を受講して

医療法人光風会 光南病院 柏倉真由美

今回の研修を受講して、看護師は家族の自己決定する力を尊重する姿勢が必要であり、家族をコントロールしようとする欲求を放棄した上で、協力関係を形成し、家族のニーズを優先する必要があると学びました。

日々の看護の中で、意思決定・代理意思決定支援時に、患者や家族に自分の知識や経験から情報提供する事がありました。それが誘導や押しつけになっていなかったのか？患者・家族にとって最善の提案だったのか？と考えさせられました。現在、医療の発展や高まるニーズ、高齢化社会に伴い認知症や代理意思決定者の不在などにより、意思決定や代理意思決定が複雑化しています。

難しい支援ではありますが、講義で得た意思決定・代理意思決定支援のプロセスや4分割法を用いながら、患者・家族に寄り添い、最善の意思決定支援が出来るよう、日々精進して行けたらと思います。

災害支援ナース養成研修での学び

医療法人徳真会 真岡病院 2階病棟看護師 加羽澤 一博

今回災害支援ナース養成研修を受講して、災害支援ナースとしての知識や役割について学びました。実際に令和6年の1月に起きた能登半島地震に派遣された方の実体験の講義から多様なニーズに伝えていかなければならないという事を理解しました。それは水道や電気などのライフラインが途切れている状態の中でストレスが生じている被災者へのメンタルケア、健康状態の観察、体調の変化の早期発見に努めること。さらに長期の避難生活や集団行動は感染症発生のリスクも高いことから避難所の環境整備や感染症対策も、災害支援ナースとして重要であるということです。災害支援ナースは基本的な看護スキルと経験を被災地に適応させる事で被災者のサポートに繋がると感じました。そのため常日頃から、学びを深めていき看護スキルの向上を図りながらいつ派遣要請が来ても応えられる様準備していきたいと思いました。

診療報酬から見える地域連携強化を受講して

獨協日光医療センター 透析部 星野 倫子

2024年度は6年に1度の診療報酬のトリプル改定であり、地域の包括的な支援・サービス提供体制において、さらに地域連携を強化させる方策を見出したいと思い研修会に参加を希望しました。

在宅患者数は2040年にピークを迎えることが予測され、地域包括ケアシステムの深化・推進が必要であることを学ぶことができました。そして、医療と介護は連携し、情報共有をしていく事が重要であり、病院から転院や退院をする際に、「患者の在宅療養生活に対する本人・家族の意向」について在宅で支援をする方たちが知りたい情報の一つである事を知ることができました。私は透析部で勤務しており、外来維持透析患者の中に今後在宅医療が必要になると予測される高齢独居の患者や年齢と共にADLが低下してきたと感じる患者がいます。患者と関わる中で、患者の意向を確認し、在宅医療が必要になった際に、在宅で必要な情報を提供していけるようにしていきたいと思います。

OJTによる効果的・効率的・魅力的な研修企画に参加して

宇都宮記念病院 大橋 和明

私は現在、外科病棟で勤務をしている。部署内での勉強会の企画を計画しアソシエイトする役割を担っている。また、院内では教育委員として院内のラダー研修の企画や研修の実施及び、その評価を行っている。その中で、研修の目標や目的の設定や研修の評価に悩み、今回の研修を受講を強く希望した。

講義ではインストラクショナルデザインの理論について学び、その中でADDIEモデルを活用することで効果的な研修の企画ができることや、ARCSモデルを元に学習者が学びの意欲や魅力的に感じるような内容を工夫する必要性について考えることが出来た。グループワークでは他施設の受講者とそれぞれの部署や施設での勉強会や研修運営について困っていることを共有することにより、課題がより明確になった。

今回の研修で得た学びを周知や波及を行い、学習者が「面白そう」「何かありそうだ」という学習者の興味・知的好奇心を刺激できるような魅力的な研修、勉強会の企画を目指していきたいと考える。



**公益社団法人栃木県看護協会事務局
とちぎ訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所
地域住民への健康づくりに参加しました**



とちぎ訪問看護ステーションみぶ・居宅介護支援事業所みぶ

第85回 壬生町健康ふくし祭り

今年もかんごちゃんと参加しました

10/20
日

〈活動内容〉

血圧測定： 64名
グリッターバグ： 62名
健康相談： 10名



とちぎ訪問看護ステーションくろばね

大田原市東部地域包括支援センター様・さとう薬局様と参加しました

第41回 芭蕉の里くろばね秋まつり

10/20
日

〈活動内容〉

血圧測定・酸素濃度、健康相談： 70件
健康相談・健康指導に関する相談：70件



第2回 福祉まつり 令和6年度湯津上地区文化祭

10/27
日

〈活動内容〉

血圧測定・酸素濃度、健康相談： 5件
健康相談・健康指導に関する相談：5件



とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ・居宅介護支援事業所たかねざわ

第46回高根沢町文化祭

今年度初めて参加しました

11/2
土

〈活動内容〉

手作りの折り紙手裏剣
風船の配布
血圧測定・酸素濃度、呼吸器測定：33名



栃木県看護協会事務局・とちぎ訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ



今年度から「栃木県看護協会」として参加しました

9/14 土
~15 日

〈活動内容〉

参加者へのPR
(看護協会・在宅療養について)
ボランティア活動





ナースセンター通信

※ 栃木県ナースセンター事業は栃木県からの委託事業です。
※ 詳細は栃木県看護協会ホームページをご覧ください。

キャリア継続支援研修

超少子高齢化社会を迎え、これから若い看護人材の確保が困難になることが予想される中、プラチナナースの活躍が重要となってきます。そんなプラチナナースに「選ばれる職場づくり」をサポートします！

【集合研修】

2025年2月10日(月)10:00~

会場：栃木県看護協会研修センター

対象：主任、看護管理者、人事・採用担当者等
(興味のある方どなたでも大歓迎)

人数：20名程度

内容：①プラチナ世代雇用への取り組みプロセス
②65歳超雇用推進助成金・特定求職者雇用開発助成金について

申込方法：栃木県看護協会研修システム

※当日受講された方には、限定かんごちゃんノート等プレゼント♪

【動画配信】

今年度分の集合研修を録画した内容です。
ご自分のご都合に合わせてご視聴できます。

2025年3月1日(土)~3月15日(土)

対象：主任、看護管理者、人事・採用担当者等
(興味のある方どなたでも大歓迎)

内容：①これからの雇用促進・人材確保・定着への取り組みプロセス
②プラチナ世代雇用への取り組みプロセス
③65歳超雇用推進助成金・特定求職者雇用開発助成金について

申込方法：栃木県看護協会研修システム

※①~③併せて3時間15分程度の動画です。

参加費無料!

看護職のための就職相談会

2025年2月15日(土)
13:30~15:30開催

就職に必要な履歴書・職務経歴書の書き方や面接時の注意点のお話を聞いたり、求人施設の担当者から直接いろいろな相談をしたり説明が聞けたりします。就職のための参考になります。ご参加お待ちしております。

会場：とちぎ健康の森 多目的フロア

対象：看護職の資格をお持ちの方・看護学生

人数：30名程度

参加予定求人施設：20施設程度
(200床以下の病院、診療所、介護施設等)

心にのこる看護エピソード募集

看護する側、受ける側、看護職を目指す方、皆さんが体験した「心にのこる看護エピソード」を募集いたします。

応募資格：栃木県在住または通勤通学されている方。

募集内容：800字程度
タイトル(題名)をつける

表彰・賞金：最優秀賞…1名(3万円)
優秀賞……2名(1万円)

締め切り：2025年2月28日(金)

※入賞作品はホームページに掲載予定です。

フォト レポート

訪問看護師養成講習会

令和6（2024）年度訪問看護師養成講習会、訪問看護研修（小児・在宅人工呼吸器装着者等療養支援・在宅ターミナルケア）を実施しました。（一部研修継続中）皆さんのキャリアアップ・セカンドキャリアにもつながる研修です。在宅看護に携わっている、興味がある方、訪問看護を学んでみませんか。次年度も開催予定ですので、詳細はホームページをご確認ください。



Welcome! かんごちゃん



ハロウィンかんごちゃん



クリスマスかんごちゃん



さて、次はどんなスタイルのかんごちゃんが皆さんをお迎えするのか、乞うご期待!!

お問い合わせ先

公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階

☎ 028-625-3831 ホームページ <https://www.t-kango.or.jp/nurse1.html>





第39回栃木県看護大会の開催予定のお知らせ

開催日 2025(令和7)年5月14日(水)

会場 栃木県庁昭和館正庁

看護フェス2025(「看護の日」記念行事)

を開催します!



看護の日

看護の心をみんなの心に
「看護の日・看護週間」事業の
キャラクター「かんごちゃん」

開催日 2025(令和7)年5月25日(日)
時間 13:00~15:30
場所 ライトキューブ宇都宮 2F 大会議室
対象 小学生・中学生・高校生・及び一般県民

内容

- トークショー(シークレットゲスト)
- ふれあい看護体験発表
- 心にのこる看護エピソード表彰式
- 進学相談 ● 就職相談
- 展示(白衣の変遷・フライトナース・災害支援ナース等)



栃木県
かんごちゃん

※看護の日記念行事は栃木県委託事業です。

わたしの ペット自慢



日向ぼっこしています😊

我が家の 家族たちです♪



早く暖かくしてね
と見守り中



暖かいところ大好き💕

看護協会に 入会しよう!!

看護協会は、
看護職の活動を支援する
職能団体です。



入会のご案内・会員各種手続き
会員特典は**コチラ**から

栃木県看護協会
ホームページ



編集後記

明けましておめでとうございます。巳という漢字には平和の意味があるそうです。
みなさまにとって平和で明るい一年になりますようお祈り申し上げます。